

(宮城県関係国会議員宛て)

要 望 書

《国道349号整備促進について》

【平成29年11月】

国道349号建設促進期成同盟会
会 長 根 本 匠

国道349号の整備促進について

国道349号は、昭和50年4月に国道へ昇格以来、漸次改良整備が進められ、着々とその成果が得られておりますことに感謝申し上げます。

国道349号は、茨城県水戸市を起点に福島県の阿武隈山系を縦断しながら宮城県柴田町に至る実延長約260km、沿線3県・18市町村に及ぶ路線であります。その路程の多くが阿武隈山系等山間部を通過していることから、未だ各所に幅員が狭隘で、かつ、屈曲の甚だしい区間が残されており、国道としての機能を十分に発揮できておりません。また、沿線市町村の中心市街地等においても、大型車両をはじめとする通行量の増大によって、歩道等交通安全施設の未整備区間においては、歩行者等が危険にさらされているなど、地域住民より一日も早い改良整備が強く求められております。

道路は、人と暮らしを支え、豊かな地域社会を形成する上で、最も基本的な社会資本であることは言うまでもありません。

さらに、今、我々市町村にとって喫緊の課題である「人口減少克服」と「地方創生」を進め、国が目指す「一億総活躍社会」の実現には、道路整備は不可欠であります。

また、東日本大震災において「道路」は、支援物資の運搬、緊急車両の通行など「命をつなぐ道」としてその重要性が改めて認識され、震災を教訓に幹線道路のみならず、それを補完する道路を整備し、代替性・多重性のある道路ネットワークの構築が強く求められておりますが、正に国道349号はその機能を十分発揮できるものと期待するものであります。

つきましては、沿線市町村の振興発展と沿線住民の安全・安心の確保、そして災害時における幹線道路等の補完機能を十分に果たせるよう、沿線市町村が強く求める整備促進要望箇所について、早急に改良整備を図られるよう、特段のお力添えを賜りたく、強く要望いたします。

国道 349 号 整備促進要望箇所

市町村名	要望 番号	要 望 箇 所		事 業 内 容
		箇所名 (地名)	延長 m	
柴 田 町	①	白 幡 橋	168	橋 梁 整 備
角 田 市	②	江 尻 ～ 小 坂 地 区	2,000	交 通 安 全 施 設 等 整 備 事 業
丸 森 町	③	大 張 川 張 ～ 耕 野 地 区	6,000	道 路 改 良

要望番号	市町村名	宮城県柴田町	
①	要望箇所	白幡橋	
		事業内容	橋梁整備
		延長 (m)	168
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>柴田町を縦走する一級河川「白石川」に架かる「白幡橋」は、国道349号を利用して角田市・丸森町、そして伊達市梁川町など福島県方面へ通じる重要な橋梁として年々通行車量が増大しており、さらに主要地方道白石・柴田線とも重複しているため、朝夕のラッシュ時には慢性的な交通渋滞が生じております。</p> <p>宮城県においては、平成20年度に地覆、高欄、照明灯の交換及び歩道橋塗装補修工事を、平成26年度には耐震補強工事を実施するなど、長寿命化対策を講じているところではありますが、既に架橋（昭和13年）から79年が経過し、老朽化が著しい状況にあります。</p> <p>つきましては、今後も通行量の増大が予想される「白幡橋」の安全を確保するためにも、早急に橋りょうの架け替えを図られるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>	



要望番号	市町村名	宮城県角田市	
②	要望箇所	江尻～小坂地区	
		事業内容	交通安全施設等整備
		延長 (m)	2,000
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>角田市江尻～小坂地区は、平成11年度より交通安全施設等整備事業が実施され、I期工事(L=1,000m)が平成21年度に完了したところであります。</p> <p>しかしながら本箇所は、一級河川「阿武隈川」の堤防の一部を国道として利用しており、また、両側にガードレールが設置されている箇所もあるため、近年の交通量の増大、特に大型車両の増加によって、歩道未整備区間では歩行者・自転車が非常に危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、II期工事(L=1,000m)の早期完成とその先の歩道整備を図られるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>	



要望番号	市町村名	宮 城 県 丸 森 町	
③	要望箇所	大 張 川 張 ～ 耕 野 地 区	
		事業内容	道路改良
		延長 (m)	6,000
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>丸森町大張川張～耕野区間は、福島県側へ通じる路線として「国道4号」や「東北自動車道」での大規模災害発生時や冬季間の凍結等による通行止めが発生した際に、迂回路としての役割を大いに期待されております。</p> <p>しかしながら、本区間は、幅員が狭隘でかつ屈曲が連続していることから接触事故が多発し、また、大型車両が対面交差を行うためには、一方が待避所まで後退しなければならないなど、危険を伴う区間であります。</p> <p>さらに、阿武隈川の増水時には冠水によって交通不能となる区間でもあります。</p> <p>つきましては、期待される「国道4号」や「東北自動車道」の代替道路としての機能を果たせるよう、検討が進められている国直轄権限代行事業の早期採択に向け、特段のお力添えを賜りたい。</p>	



国道349号建設促進期成同盟会 構 成 員

会 長	根 本	匠 (衆 議 院 議 員)
副会長	大 久 保 太	一 (茨城県 常陸太田市 市長)
副会長	岡 部 光	徳 (福島県 古 殿 町 長)
副会長	保 科 郷	雄 (宮城県 丸 森 町 長)
	高 橋	靖 (茨城県 水 戸 市 長)
	小 川 春	樹 (茨城県 日 立 市 長)
	海 野	徹 (茨城県 那 珂 市 長)
	清 水 敏	男 (福島県 い わ き 市 長)
	古 張	允 (福島県 矢 祭 町 長)
	宮 田 秀	利 (福島県 塙 町 長)
	大 樂 勝	弘 (福島県 鮫 川 村 長)
	澤 村 和	明 (福島県 平 田 村 長)
	大 和 田	昭 (福島県 小 野 町 長)
	本 田 仁	一 (福島県 田 村 市 長)
	新 野	洋 (福島県 二 本 松 市 長)
	佐 藤 金	正 (福島県 川 俣 町 長)
	仁 志 田 昇	司 (福島県 伊 達 市 長)
	大 友 喜	助 (宮城県 角 田 市 長)
	滝 口	茂 (宮城県 柴 田 町 長)

《国道349号全線図》



【沿線市町村】

◎宮城県
柴田町
角田市
丸森町

◎福島県
伊達市
川俣町
二本松市
田村市
小野町
いわき市
平田村
古殿町
鮫川村
塙町
矢祭町

◎茨城県
常陸太田市
日立市
那珂市
水戸市